IBM Watson

Speech to Text ツールマニュアル

日本アイ・ビー・エム株式会社





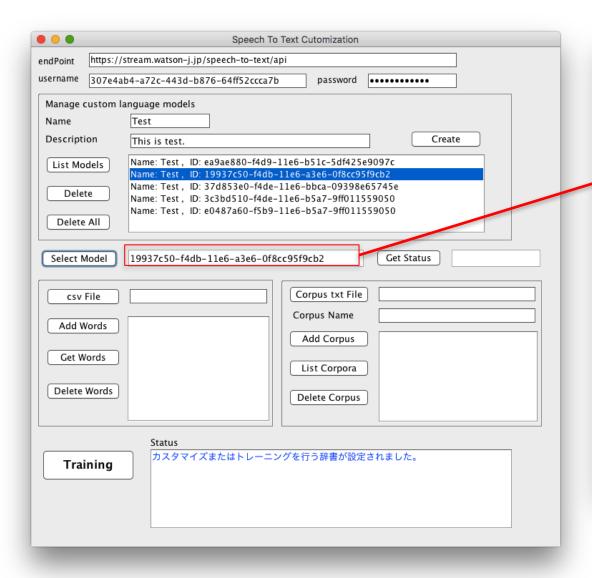
目次

- 1. 辞書のカスタマイズ
 - 1. 辞書の作成と削除
 - 2. 単語の新規登録と削除
 - 3. csvファイルのフォーマット
 - 4. コーパスの新規登録と削除
 - 5. txtファイルのフォーマット
 - 6. 辞書のトレーニング

- 2. 音声認識
 - 1. wavファイルの音声認識
 - 2. マイク入力の音声認識
 - 3. カスタム辞書の使用
- 3. トラブルシューティング
 - 1. FAQ
 - 2. リンク集



ツール概要:カスタマイズされた辞書を使って音声認識が可能



• • •	Speech To Text
endpoint https:/	/stream.watson-j.jp/speech-to-text/api
username 307e4ab	4-a72c-443d-b876-64ff52ccca7b password •••••••
model ja-JP_BroadbandModel ≎	
✓ Use Customization 37c50-f4db-11e6-a3e6-0f8cc95f9cb2 Output text file (only wav file)	
wav File 1224/	wav_files/STTinput_KIT.wav Start mic input
	Upload Stop mic input
[0.61]金沢 工業 大学 (ま <mark>金工大</mark> と 呼ばれ ます
Status 音声認識が完了しまし	Upload Stop mic Input [0.61]金沢 工業 大学 は <mark>錦江台</mark> と 呼ばれ ます
	Status 音声認識が完了しました。



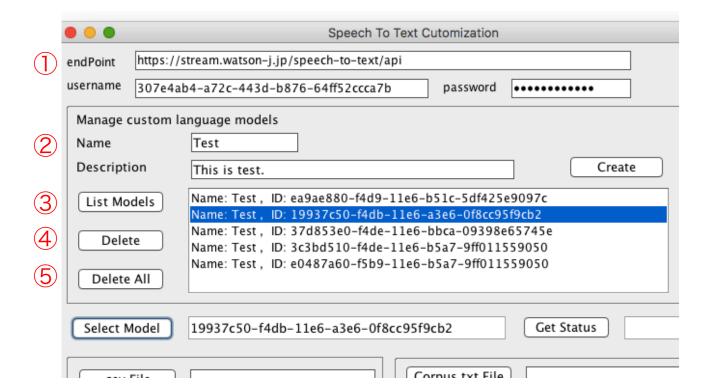
1. 辞書のカスタマイズ





1-1. 辞書の新規作成と削除

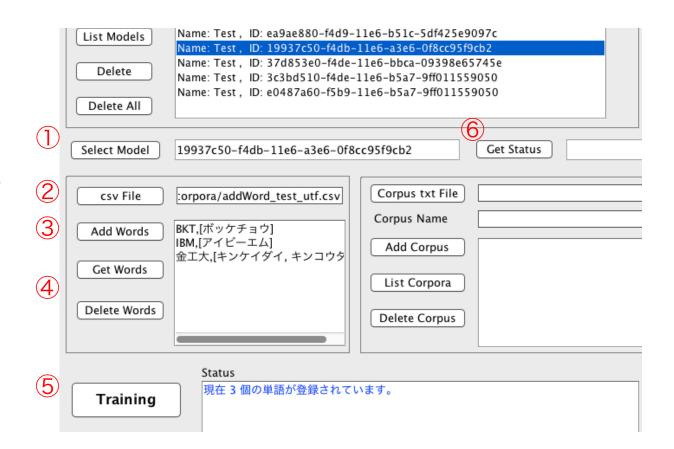
- 1. インターネットへ接続されていることを 確認し、クレデンシャル情報が正しいも のか確認
- 2. Name, Descriptionを入力後、Createを クリックして新規作成
- 3. List Modelsで新しく作成された辞書を確認
- 4. 任意の辞書を選択してDeleteをクリック すると削除可能
- 5. Delete Allで全ての辞書を削除





1-2. 単語の登録と削除

- 1. カスタマイズを行いたい辞書をリストから選択しSelect Modelをクリック
- 2. csv Fileをクリックし、単語登録に使うcsv ファイルを選択(次項参照)
- 3. Add Wordsをクリックして辞書に単語を登録
- 4. Get Wordsで登録された単語の確認、Delete Wordsで削除が可能





1-3. 単語登録用csvファイルのフォーマット

- 文字コードはUTF-8のみ可能
 - エクセルまたは任意のテキストエディタで作成
- 列は下記の順番を厳守
 - _ 一列目(Word)
 - > 表示させたい文字列を入力
 - 二列目以降(SoundsLike)
 - > 認識させたい「ヨミ」を全角カタカナで入力
 - > 2種類以上の場合、右に不定長で並べる

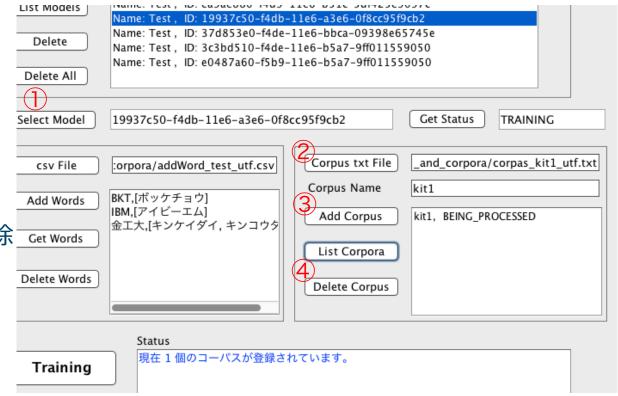






1-4. コーパスの登録と削除

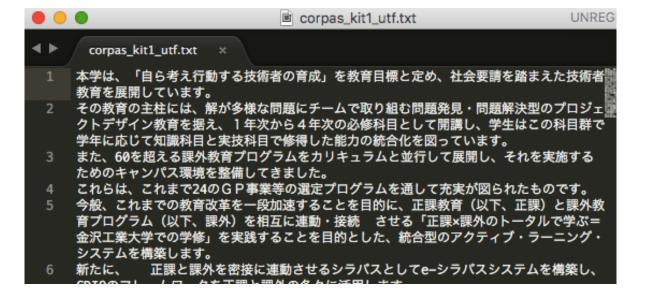
- 1. カスタマイズを行いたい辞書をリストから選択 USelect Modelをクリック
- 2. Corpus txt Fileをクリックし、単語登録に使うtxtファイルを選択(次項参照)
- 3. Corpus Nameに任意の名前を入力し、Add Corpusをクリックして辞書に単語を登録
- 4. List Corporaで登録されたコーパスの名前と状態を確認、Delete Corpusで任意コーパスの削除が可能
- 5. List Corporaでコーパスの状態を確認し、 BEING_PROCESSEDからANALYZEDになって いれば辞書のトレーニングが可能





1-5. コーパス登録用txtファイルのフォーマット

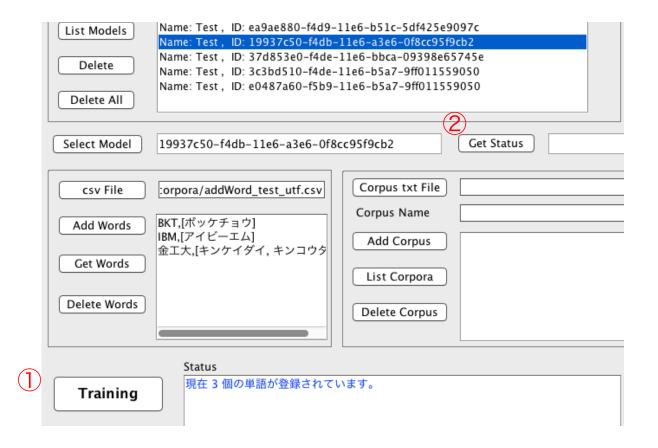
- 文字コードはUTF-8のみ可能
 - 任意のテキストエディタで作成
- 一つの行に一つの文章とすると精度が上がる (必須ではない)





1-6. 辞書のトレーニング

- 1. 単語、コーパスを新たに登録したり削除した場合、Trainingをクリックすることで辞書をトレーニングする(リクエストに数十秒かかる場合もある)
- 2. トレーニング後にGet Statusでモデルの状態を確認し、AVAILABLEになっていれば音声認識 に利用可能





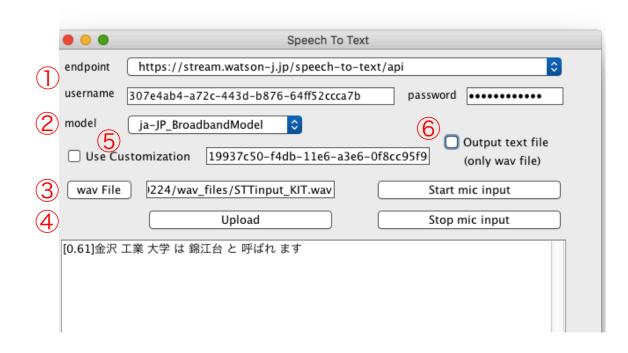
2. 音声認識





2-1. wavファイルの音声認識

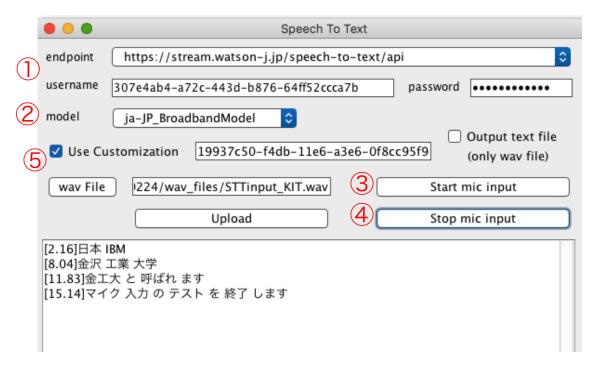
- 1. インターネットへ接続されていることを確認し、 endpoint, username, passwordを入力
- 2. 認識言語をModelから選択(日英)
- 3. wav Fileをクリックし、音声認識に使うwav ファイルを選択
- 4. Uploadをクリック
- 5. 辞書を使う場合はUse customizationにチェックを入れて辞書IDを入力
- 6. 書き起こしの結果を自動で保存したい場合は Output text fileにチェックを入れる(wavファ イル名の拡張子がtxtになったファイルが同じ ディレクトリに作成される)





2-2. マイク入力の音声認識

- 1. インターネットへ接続されていることを確認し、 endpoint, username, passwordを入力
- 2. 認識言語をModelから選択(日英)
- 3. Start mic inputをクリックし、音声認識を開始
- 4. 認識が終了したらStop mic inputをクリックして認識を終了する
- 5. 辞書を使う場合はUse customizationにチェックを入れて辞書IDを入力



注意点

- 4. の後に次の動作を行うと書き起こされた文字列が失われる
- マイク入力の場合、テキストファイルの自動保存ができない
- 書き起こした文字列を保存したい場合は、「メモ帳」などの別ソフトに貼り付けて保存する





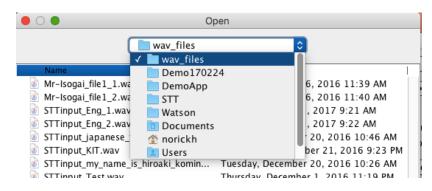
3-1. FAQ (1/2)

- 辞書は最大何個まで登録できますか?
 - 制限はありませんが、一度に使えるのは一つの辞書だけです。
- 単語は最大何個まで登録できますか?
 - 最大3000個です。
- コーパスは最大何個まで登録できますか?
 - 個数に制限はないですが、全てのコーパスを合わせて1000万字を超えないようにしてください。詳細は次をご覧ください。https://www.ibm.com/watson/developercloud/doc/speech-to-text/custom.shtml#prepareCorpus
- Add Wordsでsynchronized errorが表示されます
 - 通信エラーです。できるまで繰り返してください。
- 単語を個別に削除したいのですが
 - その機能はサポートしていないので、一度全ての単語を削除してから新しくcsvを登録してください。



3-1. FAQ (2/2)

- wav音声ファイルを途中で認識しなくなってしまいました。
 - 一度にアップロードできるのは100MBまでなので、分割して読み込ませてください。
- ファイルを選択するときのウィンドウ上で、上位のディレクトリに行くにはどうしたらいいですか。
 - 現在のディレクトリが表示されている部分をクリックして みてください。(右図)
- その他動作がおかしくなった時
 - インターネットの接続を確認してください。
 - アプリを再起動してください。





3-2. リンク集

- 単語登録の仕様書
 - https://www.ibm.com/watson/developercloud/doc/speech-to-text/custom.shtml#addWords
- コーパス登録の仕様書
 - https://www.ibm.com/watson/developercloud/doc/speech-to-text/custom.shtml#addCorpora
- APIリファレンス
 - APIのリクエストとレスポンスの仕様書です
 - https://www.ibm.com/watson/developercloud/speech-to-text/api/v1/
- API Explorer
 - GUIでcURLを使ったリクエストとレスポンスを観測できるツールです
 - https://watson-api-explorer.mybluemix.net/apis/speech-to-text-v1
- Watson Developer Tools
 - 上記を含むリンク集で、SDKやコミュニティを参照することができます
 - https://www.ibm.com/watson/developercloud/developer-tools.html